

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2016年 10 月号

会長：阪本弘二

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

《 10月の山行計画 》

No. 3, 284 那須・朝日岳～三斗小屋～沼原湿原 L 佐藤正信

10月2日(日) 上野6:49 快速ラビット宇都宮行=7:12 大宮7:13=8:18 宇都宮8:20=9:10 黒磯9:25 発バス=10:25 那須ロープウェイ駅
(又は上野駅7:50 発やまびこ 205号(20番線)=8:58 那須塩原9:10 発バス) 那須ロープウェイ駅) 10:40 歩き出しー1時間峰の茶屋跡ー40分朝日岳ー40分隠居倉ー50分三斗小屋温泉(大黒屋 泊)

歩程：3時間10分+1時間30分……4時間40分

10月3日(月) 大黒屋7:00ー1時間三斗小屋跡(廃村)ー1時間35分沼原湿原ー2時間乙女の滝ー40分板室温泉 14:50 発バス=15:25 黒磯駅

歩程：5時間15分+2時間……7時間15分

大黒屋で人数制限があった場合は締め切らせて頂くことがあります。天気予報で降水確率が50%で変更か中止を決めます。

地図：昭文社“那須・塩原”

費用：約20,000円(2食付9,500円 TEL090-1045-4933)

申し込み：9月26日(月) PM9:00まで 電話・SMまで 質問は携帯にお願いします。

No. 3, 285 寺家の里^{じけ}ウォーキング <C> L 飯田隆一

舗装道路のウォーキングと山道に少し入る<C>山行を兼ねて行います。

10月6日(木) 小田急線柿生駅10:00 集合 10:10 歩き出しー30分鶴川女子短大分岐ー(お寺ー横穴古墳跡) 古墳入口ー30分寺家の里入口ー(大池、熊野池、むじな池)ー水車小屋(昼食)ー四季の家ー四季の家見学15分

歩程：約2時間45分＋1時間15分……4時間 14:00 四季の家に着く（解散）。青葉台駅又は柿生駅行バスに乗車。

地図：参加者に当日お渡しします。

費用：約1,500円

申し込み：前日までに電話、FAX、SMSでリーダーへ。

備考：（ ）内はC山行コースです。履物はウォーキング参加の方はウォーキングシューズで結構ですがC山行参加の方は軽登山靴で参加下さい。

No. 3, 286 夕倉山から大指山 <C> L 高橋輝男

10月9日（日）JR 青梅線青梅駅改札口前8:15 集合。タクシーで滝成（成木6丁目）下車。9:00 歩き出し－35分稲詰峠－30分夕倉山（411m）－20分381m点－20分松ノ木峠－35分大指山（455m）－15分伏木峠－25分白岩上ノ橋－45分JR 軍畑駅

歩程：3時間45分＋1時間45分……5時間30分 14:30 JR 軍畑駅に着く。

地図：2.5万図“武蔵御岳” 昭文社“奥多摩”

費用：約3,000円（新宿起算）

申し込み：10月7日（金）までにリーダーへ。

備考：東京発6:30 快速青梅行＝6:48 新宿＝7:30 立川＝7:42 拝島＝8:06 青梅 「静かなる尾根歩き」参照。

No. 3, 287 神津島・天上山 L 神戸千賀子

東京都の島々。山と花を楽しみましょう。シリーズで島々を踏破する予定です。（他に新島・御蔵島・大島・利島・式根島・できれば青ヶ島）、先ずは神津島へ。運が良ければセンブリリンドウが咲いているかも。

10月14日（金）竹芝栈橋（大型客船で寝て行きます）23:00 発＝

10月15日（土）8:55 神津島着 －45分黒島登山口－1時間10分千代池－1時間15分不動池－30分最高地点－1時間50分登山口ゴール。下山後民宿又はキャンプ地へ移動・泊

歩程：5時間30分＋1時間……6時間30分 16:00 キャンプ地着

地図：2.5万図“神津島”

10月16日（日）観光組もよし、のんびりゆったり島タイム組もあり。

13:30 神津島港発（ジェット船）＝16:40 竹芝栈橋着

費用：キャンプ場泊の場合約18,000円、民宿泊の場合約28,000円（竹芝栈橋起点）

申し込み：10月1日（土）までにリーダーへ。

備考：船のチケットは各自購入すること。10月からの船のダイヤが未定なので多少の変更があるかも。雨天延期（未定）

**No. 3, 288 沢口山 **

L 飯田隆一

10月17日（月） 東京発9：03（東海道新幹線ひかり465号岡山行）＝新横浜9：22＝10：05 静岡10：42＝11：13 金谷11：24＝13：09 千頭13：20＝14：00 寸又峡温泉（泊）宿泊旅館は今のところ未定です。

10月18日（火） 寸又峡温泉6：30 歩き出し－5分日向山登山口－20分北尾根－25分アンテナ跡地－30分イワカガミ群生地－20分木馬の段－20分富士見平－ミズナラの巨木（ヌタ場）－20分沢口山－30分富士見平－30分猿並平－20分鉄塔－30分寸又峡温泉

歩程：4時間30分＋1時間30分……6時間 12：30 寸又峡温泉に着く。

寸又峡14：00＝14：40 千頭14：53（SL）＝16：09 新金谷16：16＝16：23 金谷17：01＝17：32 静岡17：52（こだま668号）＝19：17 東京

地図：2.5万図“千頭、井川、寸又峡温泉、蕎麦粒山”

費用：約27,000円（東京－金谷（3670＋3000）＊2＝13340円、金谷－千頭1810＊2＝3620円、千頭－寸又峡880＊2＝1760円、宿泊8000円）

申し込み：10月8日（土）までにリーダーへ。

備考：この山は山ヒルが居ますがこの時期になるといなくなるので計画しました。紅葉が真っ盛りだとイイですね。

No. 3, 289 金時山 <C>

L 森戸ふみ

10月23日（日） バスタ新宿（南口）7：05 発＝8：59 乙女峠 9：10 歩き出し－長尾山を経て1時間15分金時山－50分乙女峠

歩程：2時間05分＋1時間25分……3時間30分

地図：2.5万図“金時山”

費用：約3,500円（小田急高速バスは1ヶ月前より予約可、TEL03-3427-3160 各自購入して下さい）

申し込み：10月21日（金）まで。

備考：当日連絡用 TEL 080-6723-4618 キャンセルの場合：バスタ新宿窓口では出発前迄キャンセル料100円、コンビニ購入の場合は出発2時間前まで事務手数料500円＋100円＋消費税の費用が生じます。

**No. 3, 290 伊豆ヶ岳東尾根 **

L 五十嵐知也

10月29日(土) 池袋7:35=8:00 所沢=8:25 飯能乗り換え8:28=8:54 西吾野-40分 森坂峠-20分 琴平神社-1時間30分 670m点-1時間 伊豆ヶ岳-1時間 正丸峠-1時間 正丸駅

歩程: 5時間30分+1時間……6時間30分

地図: 2.5万図 “正丸峠”

費用: 約2,000円

申し込み: 10月27日(木)までにCメール又は電話でリーダーへ。

No. 3, 291 上総久留里城址ウォーキング L 中神琳枝

名水と城跡の探鳥路をゆっくりと歩く。

10月30日(日) 千葉8:21 発 君津行=9:04 木更津9:16 平山行(久留里線)=9:58 久留里 10:10 歩き出し-20分 新井白石宅跡-20分 秋葉神社-20分 城山隧道-10分 城山探鳥路-10分 薬師曲輪-15分 資料館-15分 天守閣-5分 城山林間歩道入口-40分 高沢の井戸-25分 久留里

歩程: 3時間+2時間……5時間 15:10 久留里駅に着く。

地図: 2.5万図 “久留里”

費用: 約1,600円

申し込み: 10月28日(金)までにリーダーへ。

《 7月の山行報告 》

No. 3, 260 塔ノ岳～宮ヶ瀬 <A>

リーダーの都合により中止しました。

No. 3, 261 黒川清流公園から高幡不動ウォーキング

パーティ: 女性5名

7月3日(日) 晴。駅前から歩き出し、住宅地の中を曲折して行くと黒川清流公園の入り口が見える。日野台地の段丘崖の下に豊富な湧水とコナラ・クヌギの雑木林が斜面地にあり小川では子供たちの楽しそうな声がひびく。公園内の遊歩道を外れまで歩き斜面地の階段を上る。車道に出て中央線を陸橋で渡り神明野鳥の森公園を抜けます。道なりに進み用水路沿いの堀之内緑道を歩きます。幅狭く

浅い清流で鯉が遊泳する緑道は涼風が心地よく休憩にする。車道に出て日枝神社から浅川の堤防に上る。右岸に高幡不動の森を望みながら歩きふれあい橋に着く。上流に奥多摩の山々を望み、浅川では子供たちが水遊びを楽しんでいます。浅川を渡り高幡不動尊に向かう。休憩所で昼食をとりMさんの案内で山内八十八ヶ所めぐり。アジサイ・ヤマアジサイを主とする花木に包まれた路にウグイスのさえずり、逆に回り込む形で歩き休憩所に着き、ゆっくりと休み高幡不動駅へ。

豊田駅歩き出し 10:00－堀之内緑道 11:10～40－日枝神社 11:50－高幡不動尊
休憩所 12:55～13:30－高幡不動駅 15:00 (中神 記)

No. 3, 262 尾瀬 鳩待通り～尾瀬ヶ原

パーティ：女性3名、男性1名 計4名

7月4日(月) 小雨後曇。戸倉の始発シャトルバスで鳩待峠へ、レインウェアをつけ横田代へ広々とした湿原で池塘が点在しワタスゲは雨に濡れうなだれていましたが天気が良ければ周りの山々も見え天上の楽園だと思いました。中原山を越えてアヤメ平へここは復元事業中ですが荒れたままでした。富士見峠にてトイレ休憩、この先土場、十字路までの下りの木道は濡れていて凄く滑りキャップをはずしたストックを使わせてもらいました。竜宮小屋はきれいな山小屋で平日のためかすいていました。

鳩待峠 5:50 歩き出し－7:20 横田代－8:35 アヤメ平－9:20 富士見峠－
10:20 土場－12:30 竜宮小屋

7月5日(火) 曇。前夜の大雨も上がり濡れた木道をオゼコウホネ、モウセンゴケ、ぽつりぽつりのキスゲや小さな花々を見ながら中田代三叉路を経て山の鼻へ。ビジターセンターを見学後木道と階段の上りの始まりです、熊の目撃情報の看板数か所に有り、途中、中学生がネイチャーガイドに引率されグループに分かれて百人以上下ってきました。鳩待峠よりのシャトルバスに計画より一本前に間に合いましたので戸倉にてゆっくりと入浴、食事、買物を済ませバスにて定刻とおり新宿着後解散

歩き出し 7:15－8:00 中田代三叉路－8:40 山の鼻－10:55 鳩待峠

(大塚 記)

No. 3, 263 甘利山から御所山 <A>

雨天の為中止しました。

No. 3. 264 堂ノ入山 (男衾^{おぶすま}自然公園) と天神山 <C>

パーティ：女性10名、男性1名 計11名

7月10日(日)晴。男衾自然公園の中にある堂ノ入山へは、木碑の俳句を読みながら図上171mめがけて登りました。国道254号から天神山への取り付きでちょっとまごつく事が有りましたが、「K」さんのおかげで見つけることが出来、尾根に取り付けました。確りとした尾根道が続き「大山祇命(おおやまずみのみこと)」の碑の所で昼食。蚊にまとわりつかれてしまいました(失敗)。TV電波塔を左に見て間もなく天神山山頂です。三角点を確認、北面の展望を楽しみました。川の博物館への案内標識を追って下ります。住宅地に出ると急に暑さを感じました。日傘をさすといいですね。川の博物館にて解散しました。冷房の効く館内で栄養補給、落ち着いてから鉢形駅に向かいました。

男衾駅 9:20-堂ノ入山 10:05~20-国道254号 10:50~11:05-昼食 11:35~12:00-天神山 12:15~20-川の博物館 13:10 解散 (高橋(輝)記)

No. 3, 265 穂高岳周遊 <A>

雨天の予報のため中止しました。

No. 3, 266 太郎山と山王帽子山 <A>

パーティ：女性7名、男性2名 計9名

計画ではハガタテ薙経由にしてありますが、今年はクマの出現が多いので一般コースに変更して同じコースを往復することにしました。又、今年は梅雨が明けないので天候が心配でヤキモキしました。

7月24日(日)曇。湯元から湯ノ湖の山側を半周し見事な湯滝を見た。ついで川に沿った木道を歩き戦場ヶ原から光徳温泉の宿に向った。

湯元歩き出し 13:55-湯滝 14:30-宿 15:55

7月25日(月)晴後曇。月が出ているのでどうやら天気は持ちそうである。山王峠登山口に入ると朝露が多くトップだけでなく全員のズボンがびしょびしょになった。急傾斜が続くが黙々と登り山王帽子山に着く。木が茂っているので見晴らしは良くない。一旦下りハガタテ薙分岐で休憩。小太郎山に着いて景色を楽しむ。男体山、大真名子、小真名子は見えるが女峰山は雲の中、また白根山と錫ヶ岳が見えたがその他は雲の中。すぐ先の難所の岩場は左に巻いて難なく通過。太郎山に着く。ゆっくりと食事をした。ここまで9名全員が登れたので良かった。下りは疲れがたまってきたので慎重に下った。山王帽子山に着いたら30名位の大パーティが休んでいた。光徳温泉に着いて預けていた荷物を受け取りバスに乗った。今日は長丁場にも関わらずトップの阪本さん、セカンドの森戸さんのペースが全員にマッチし、早すぎず、遅すぎず、休憩は回数は少なく、時間も短か

ったので全員で太郎山の山頂まで行けたのが大変良かった。長丁場という事で最初から皆さんに気合が入っていたようだった。

山王峠 5 : 25 - 山王帽子山 6 : 30 - ハガタテ薙分岐 7 : 20 - 小太郎山 8 : 30 - 太郎山 9 : 10 ~ 50 - 小太郎山 10 : 15 - ハガタテ薙分岐 10 : 55 - 山王帽子山 11 : 50 - 山王峠 12 : 55 - 光徳温泉 14 : 10 (飯田 記)

No. 3, 268 月夜見沢前半 < B >

パーティ : 女性 2 名、男性 1 名 計 3 名

7 月 30 日 (土) 快晴。梅雨明け直後の真夏日、沢歩きには最高の日だ。藤倉バス停から道が何本もあり、入渓点までが分かりづらい。水量が多く、泳ぎの沢として人気があるとのことだが今日はそれ程の水量とは見えない。それでも水深 2 m 以上の釜が数か所ありヘツリが無理だとロープで引っ張り上げる。胸まで冷たい水につかると真夏日なのに寒くなる。2 つの堰堤の高まきはロープを使い慎重に通過した。沢に並行する林道終点手前にある釜淵という釜まで来た。釜は深く岩はぬるぬるでガイドブックは通過不可と書かれている。たまたま手頃な倒木が滝の流れ込む釜の上であり、これを利用すれば滝にとりつけそうなので、岩をへつり倒木に長目のシュリンケをまきつけた。ターザンよろしくこれにぶるさがり滝の落ち口にへばりつき、せまい滝を登りきった。しかし上から見ると結構な距離で、ロープで確保しても女性 2 人が登るにはかなりの難所だ。しかも林道に出られるポイントまでこの先まだかなりありそう。時間も 2 時に近く、メンバーも疲労してきている。ここを下るのは更に大変、ということで今日の水遊びは終りにした。

通過した林道へ上るポイントまで 10 分程戻り、ざれた急斜面を登り林道へ出た。暑い日差しが冷えた体に心地よく、すっかり着替えて少しハードだった今日の W. W. を終了した。時間があつたので林道終点まで歩いてみたが 15 分かかった。沢中だと 45 分はかかる距離である。途中で沢から林道へ上れるポイントはなかった。

8 : 40 藤倉歩き出し - 9 : 30 入渓 - 14 : 00 林道 - 15 : 30 藤倉 (五十嵐 記)

《 ちょっとひとこと 》

山には様々な出会いがあります。そこには今後の参考になるようなこと、一寸眉をひそめたくなるようなことが色々とあります。もちろん自分自身の失敗談も……。今回再び私の山での体験を披露します。8年振りの第3弾です。

1. 地図の賞味期限・食料品には賞味期限があってその日付が食べてしまうか破棄するかの目安となるが、地形図の場合発行されて20年近く経っていてもいまだに使い続けているものがある。べつに腐るでもなく、使っていてもそれほど支障がないと感じるからだが、本当にそれでいいのだろうか。ある時登山道と思って地図上の破線の道を辿っていたつもりが稜線に出るはるか手前で破線は消え、後はしばらく踏み跡とおぼしき道が続いて複雑に分岐して道は消滅した。そうここは地元の人たちの仕事道であって必ずしも登山道ではなく、また山頂へ出る保証もない。やむなく藪漕ぎよろしく力まかせに登ったら稜線の道に出たから良かったものの、下手をすれば怪我くらいでは済まなかった筈だ。また別の山では地図にはない広い道を過去の記憶に頼って右折したらそのまま下へおりてしまうポカがあった。道が何度も左右に分岐し目印のリボンや道標など一つもない山であった。これで事故っても地図のせいにはできない。地形図の表現の限界と自らの読図力の不足、さらに長年古い地図を使ってきたことが原因である。やはり地図と〇〇は新しいものに限る。

2. 時計が先に認知症・どんな山に登っても、途中で自分の現在地を確かめる時がある。それには当然地図とコンパスが必要で、私はコンパス機能の付いた山岳用の時計を長年愛用してきた。が最近山仲で現在地確認にでたところ、コンパスの指す方向と地形図で見る景色がどうも違うことに気づき、リセットすると今度は針が磁北の方を指した。さらに別の場所でも同じことを繰り返しコンパスは何故か別の方を向く。とうとう時計が北の方角を認知できなくなってしまった。つまり時計の方が私より先に認知症になってしまったのか。くたびれ果てた時計が自らお役御免を申し出てきたのであろう。冗談はともかく、現在地の正確性と登山の安全を期すためにもどうやら時計を買い直す時が来たようだ。

3. 山ノ神のお使いに・ある山の峠にさしかかった時、年配の男性が何かを見つけて突然「オッ蝮だ。こいつめっ！」と言いながら手にしたストックでまだ小さい蛇をつつき始めた。よせばいいのにいい年をして大人げない。一体このオジサンは何しにここまで登ってきたのであろうか。あゝ可哀そうなのは仔蛇もそうだが追いかけて回したこの人の方である。見た目が悪い、気持悪いという理由で森の住民に危害を加えて何の得があるのか。この人には自分は大自然の中で生か

されているのだという自覚はないのだろうか。そして山の生き物達は動植物の全てがこの山の神の化身なのである。都会の喧騒を離れ非日常の世界に浸るのであるから、せめて自然を敬う心と登らせてもらうという謙虚な気持ちは持ってもらいたいものだ。

《 お 知 ら せ 》

☆ 11月の山行予告

11月27日（日）クロオ山から御前山 L飯田隆一

☆ **No. 3, 283 蓼科山** はリーダーの都合により9月19日（月・祝）～20日（火）に変更します。

☆ No. 573 堀坂祥子さんのスポーツ安全保険手続きが終了しました。

☆ 10月の役員会は10月5日（水）練馬区役所19階1905室18:00～20:00です。

☆ 11月の山行計画及び山行報告を8月31日（水）までに飯田まで提出して下さい。